

2021年7月21日 全8頁

Indicators Update

2021年6月貿易統計

米国向けが好調も4-6月期の純輸出は前期から減少

経済調査部 エコノミスト 岸川 和馬

[要約]

- 2021年6月の貿易統計によると、輸出金額は前年比+48.6%と大幅に増加した。これまで全体をけん引してきたアジア向けや、持ち直しの兆しが見られていたEU向けの弱さが悪材料であったものの、既に景気回復が軌道に乗った米国向けが全体を押し上げた点は評価できよう。他方、供給制約などを背景に2021年4-6月期の貿易収支は+114億円（季節調整値）と小幅な黒字にとどまり、1-3月期の+9,113億円（同）を大きく下回った。
- 輸出数量（大和総研による季節調整値）は前月比+2.8%と2カ月ぶりに増加した。地域別に見ると、EU向け（同▲4.9%）やアジア向け（同▲1.4%）は減少した一方、米国向け（同+3.7%）が全体をけん引した。
- 先行きの輸出は増加が続くとみている。中国向け輸出は旺盛なインフラ投資需要を背景に高水準で推移するほか、足踏み状態にあった欧米向け輸出も増加に向かうだろう。総じてみれば好調さを維持するとみられる一方、感染力の強い新型コロナウイルス変異株（デルタ株）の拡大や半導体不足による供給制約などのほか、各地域に特有のリスク要因が散在する点には注意が必要だ。

【貿易金額】供給制約などを背景に4-6月期の純輸出は前期から減少

2021年6月の貿易統計によると、輸出金額は前年比+48.6%と前月に続いて大幅に増加した。**(図表1)**。不振だった前年同月の裏の影響が顕著に表れたが、季節調整値で見ても前月比+2.4%となった。これまで全体をけん引してきたアジア向けや、持ち直しの兆しが見られていたEU向けの弱さは悪材料だが、既に景気回復が軌道に乗った米国向けが全体を押し上げた点は評価できよう。

輸入金額は前年比+32.7%と大幅に増加した。品目別では原油及び粗油のほか、価格高騰が続く非鉄金属や鉄鉱石が全体を押し上げた。季節調整値では前月比+4.0%となり、貿易収支は▲902億円(季節調整値)と4カ月ぶりに赤字へ転じた。

貿易収支を四半期ベースで見ると、4-6月期は+114億円(季節調整値)と小幅な黒字にとどまり、1-3月期の+9,113億円(同)を大きく下回った。このため、財輸出は4-6月期の実質GDPを押し下げる要因となろう。供給制約などを背景に輸出が滞ったことに加え、4回目の緊急事態宣言の発出などを受けて巣ごもり需要が拡大したことや、円安の進行を受けて財の輸入金額が押し上げられたことが背景にあるとみられる。

図表1：貿易統計の概況

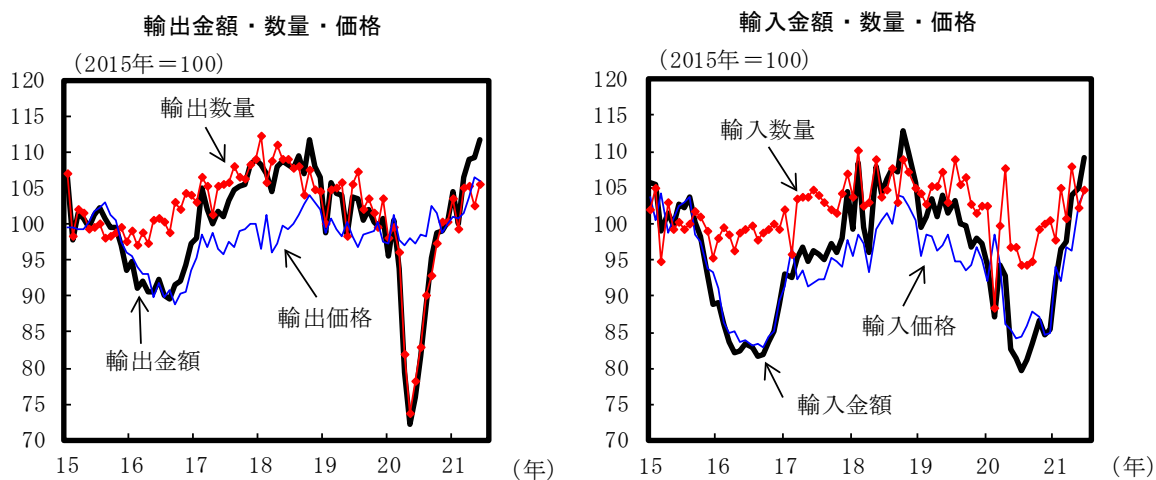
		2020年			2021年					
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
原系列 前年比 %	輸出金額	▲0.2	▲4.2	2.0	6.4	▲4.5	16.1	38.0	49.6	48.6
	コンセンサス									46.2
	DIRエコノミスト予想									47.4
	輸入金額	▲13.1	▲11.0	▲11.5	▲9.4	11.9	5.8	12.9	27.9	32.7
	輸出数量	▲1.6	▲3.9	▲0.1	5.3	▲4.3	12.6	28.4	38.5	37.2
	価格	1.5	▲0.2	2.1	1.0	▲0.1	3.1	7.4	8.0	8.3
	輸入数量	▲5.5	▲2.1	▲2.0	▲4.1	22.0	3.9	1.2	6.9	8.2
価格	▲8.0	▲9.1	▲9.7	▲5.5	▲8.3	1.9	11.5	19.6	22.6	
	貿易収支(億円)	8,582	3,558	7,447	▲3,272	2,117	6,578	2,488	▲1,894	3,832
季節 調整値 前月比 %	輸出金額	3.7	0.3	1.3	4.3	▲4.4	6.5	2.4	0.1	2.4
	数量	4.8	3.0	0.0	3.4	▲4.2	5.7	0.2	▲2.6	2.8
	価格	▲1.1	▲2.6	1.3	0.8	▲0.3	0.7	2.2	2.7	▲0.4
	輸入金額	3.9	▲2.3	0.9	7.8	5.0	1.0	6.5	1.0	4.0
	数量	4.7	0.8	0.5	▲2.7	7.4	▲4.0	7.0	▲5.3	2.4
	価格	▲0.7	▲3.1	0.4	10.8	▲2.2	5.3	▲0.5	6.6	1.5
		貿易収支(億円)	5,684	7,148	7,466	5,826	▲84	3,371	819	196
	税関長公示レート	105.51	104.68	104.11	103.57	104.50	107.13	109.56	108.80	109.50

(注1) 税関長公示レートは円/ドルレート。コンセンサスはBloomberg。

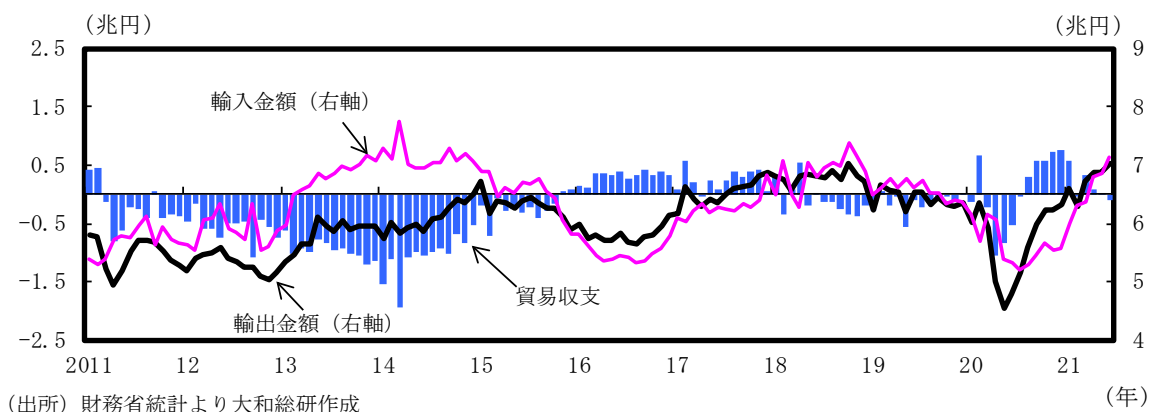
(注2) 数量と価格の季節調整値は大和総研による。

(出所) 財務省、Bloombergより大和総研作成

図表 2：輸出金額・数量・価格、輸入金額・数量・価格（季節調整値）



図表 3：輸出、輸入、貿易収支（季節調整値）



【輸出数量】アジア向けが一服も、米国向けがけん引し全体は増加

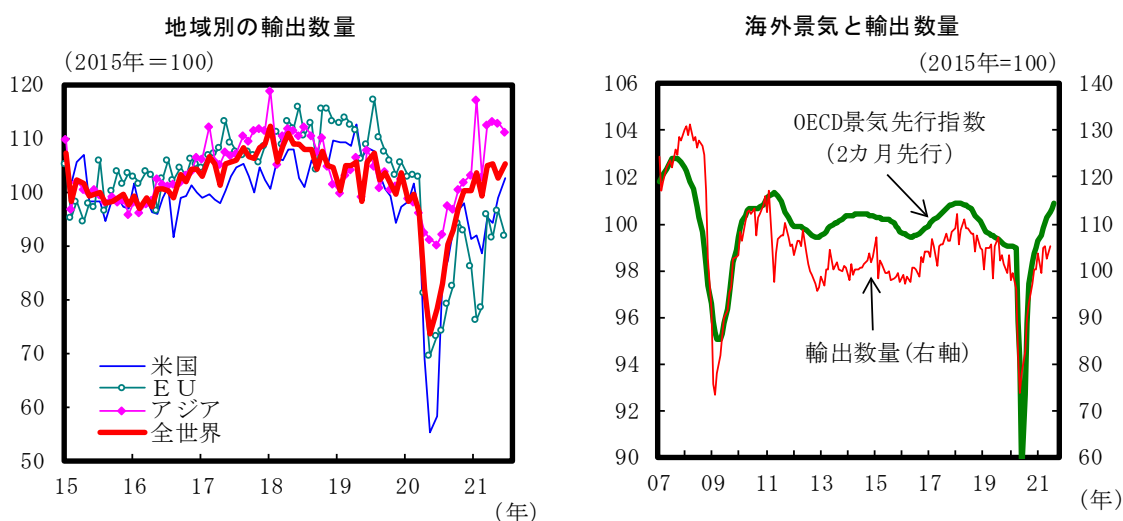
6月の輸出数量（大和総研による季節調整値）は前月比+2.8%と2カ月ぶりに増加した。地域別に見ると、EU向け（同▲4.9%）やアジア向け（同▲1.4%）は減少した一方、米国向け（同+3.7%）が全体をけん引した。

米国向け輸出は2カ月連続で増加し、コロナ禍直前（2020年2月）の水準を上回った。電算機類の部分品や自動車のエンジンを含む原動機、プラスチックなどの中間財の輸出が増加した。自動車を除いて見れば米国内の生産水準は堅調に推移しており、根強い中間財需要があるとみられる。他方、自動車輸出は前月から横ばいであった。半導体不足を受けて世界的に自動車の生産が鈍っており、米国の旺盛な需要に応えられない状況が続いている。

EU向け輸出は2カ月ぶりに減少した。自動車や二輪自動車の減少が全体を大きく押し下げた。EU向け輸出数量は持ち直しの兆しが見られていたが、半導体不足などを背景に足踏みとなった格好だ。他方、米国と同様に電算機類の部分品や原動機、プラスチック、鉄鋼などは増加した。とりわけ鉄鋼は既に高水準にあったにもかかわらず急増しており、EU域内での製造業の活発化を反映しているとみられる。

アジア向け輸出は2カ月連続で減少した。プラスチックや非鉄金属、半導体等製造装置などの主力品目が減少しており、これまでの増加基調に一服感が見られる。とはいえアジア向け輸出は水準で見れば依然として好調さを保っている。他方、自動車や鉄鋼、医薬品などの輸出は中国向けを中心に増加しており、とりわけ自動車は全体を大きく押し上げた。

図表4：地域別の輸出数量、海外景気と輸出数量（季節調整値）



(注1) OECD景気先行指数 (CLI) はOECD諸国とBRICsなど非加盟6カ国を集計したベース。

(注2) 輸出数量の季節調整は大和総研。

(出所) 財務省、OECD統計より大和総研作成

【見通し】輸出は全体で見れば堅調も、リスク要因が散在

先行きの輸出は増加が続くとみている。中国向け輸出は旺盛なインフラ投資需要を背景に引き続き高水準で推移するだろう。また足踏み状態にあった欧米向け輸出も増加に向かうとみている。総じてみれば好調を維持するとみられる一方、各国では消費の中心が財からサービスに移りつつあるほか、感染力の強い新型コロナウイルス変異株（デルタ株）の拡大や半導体不足による供給制約などのリスク要因には注意が必要だ。

地域別に見ると、米国向けは緩やかな増加が続くとみられる。米国政府による大規模な経済対策やコロナ禍で積み上がった貯蓄の一部が消費に向かうだろう。ただし米国の景気は急回復から緩やかな拡大局面へと変わりつつあり、内需の拡大ペースは鈍化が見込まれる。また6月の小売売上高によれば、ワクチン普及に伴い消費の軸足が財からサービスへと移ってきている。これらを背景に、日本からの財輸出は米国経済全体の拡大ペースよりも緩やかな増加を辿るとみている。

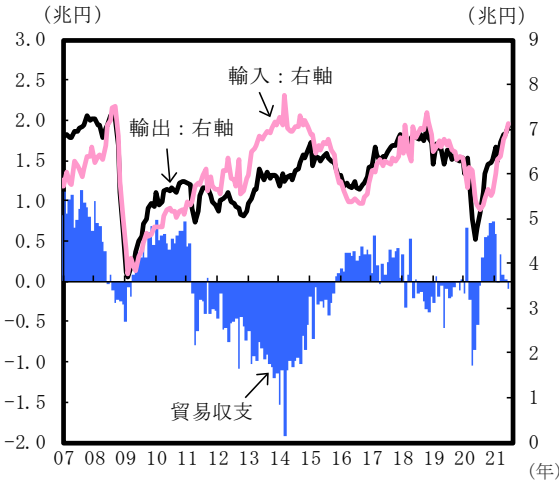
欧州向けは増加基調を辿るとみている。EU域内ではワクチン接種の進展を背景に行動制限措置の緩和が進んだことで消費が上向いており、今後も抑制されていた需要の回復が見込まれる。他方、足元ではデルタ株の流行を背景に感染者数の増加ペースが加速しており、内需に悪影響をもたらす可能性が高い。また7月中旬のドイツなどでの記録的な豪雨によって域内の広範囲でサプライチェーンの寸断が生じている。EU域内での生産の停滞によって資本財需要が減退し、欧州向けの主力である一般機械などの輸出が細るリスクがあろう。

中国向けは短期的には堅調に推移するとみている。旺盛なインフラ投資需要を背景に、中間財輸出が全体を押し上げる要因となろう。また世界経済の回復を背景に中国の輸出は堅調に推移しており、中国国内での増産に伴って資本財需要が拡大する可能性がある。これにより、日本からの資本財輸出の増加が期待できる。ただし中国当局は不動産開発投資の抑制に動いており、中長期的にはインフラ投資需要の減退に伴って日本からの輸出に下押し圧力がかかるだろう。

なお主要輸出先ではインフレ率の急上昇が見られている。いずれの地域においても短期的な現象であるとの見方が根強いが、世界的に需要が拡大する一方で供給制約の解消の兆しは見られない。需給の逼迫が続いてインフレ率が高止まりすることで、日本とのインフレ格差の拡大が徐々に円高の進行を招き、輸出環境が悪化するリスクに留意が必要だ。

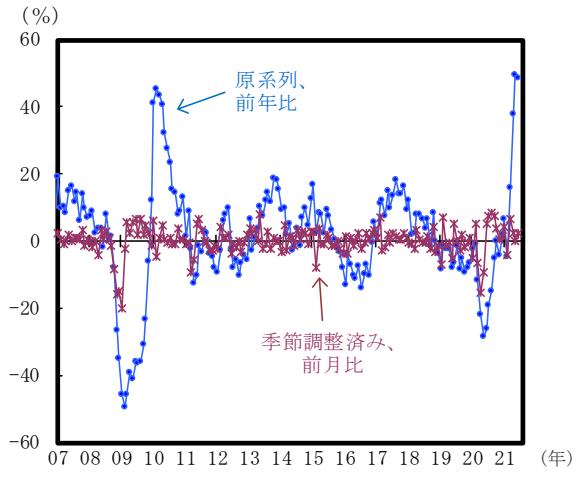
概況

輸出入と貿易収支 (名目、季節調整値)

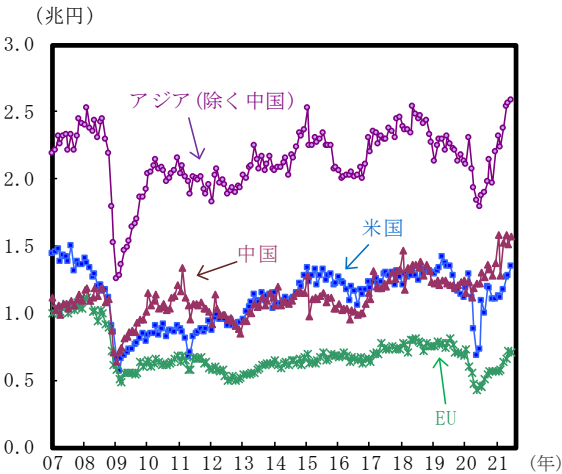


(出所) 財務省統計より大和総研作成

輸出額の変化率 (名目)

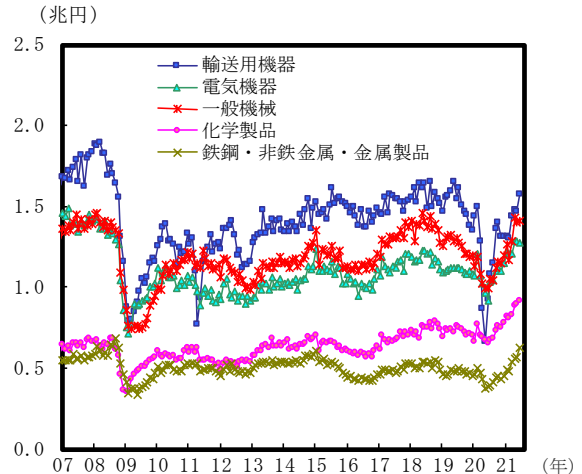


主要地域・国別の輸出額 (名目、季節調整値)

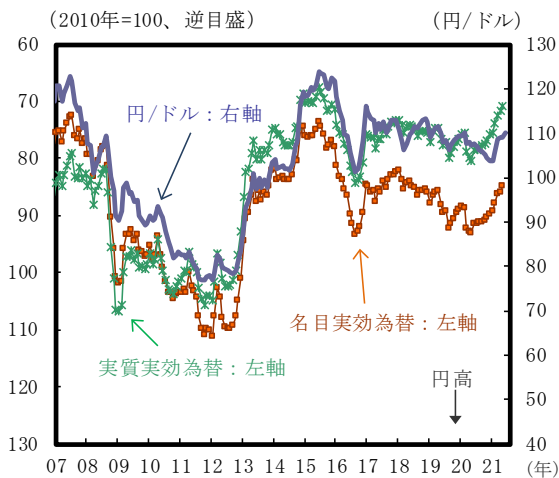


(注) 季節調整は大和総研。
(出所) 財務省統計より大和総研作成

主要商品別の輸出額 (名目、季節調整値)

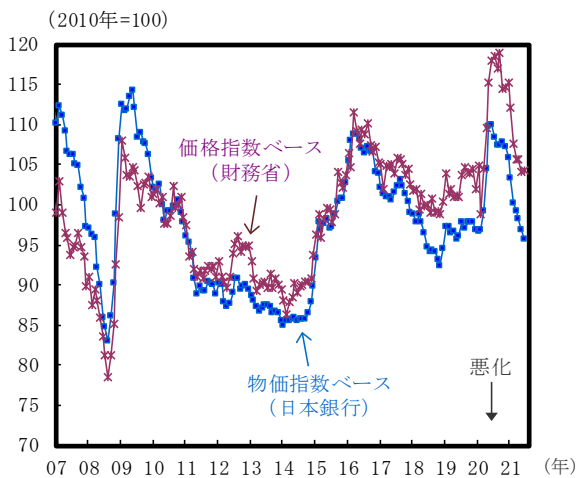


為替相場



(注) 交易条件は、輸出価格指数/輸入価格指数 (輸出物価指数/輸入物価指数)。
(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

交易条件



輸出金額 内訳								
	2021/01	2021/02	2021/03	2021/04	2021/05	2021/06		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	6.4	▲4.5	16.1	38.0	49.6	48.6	100.0	48.6
食料品	41.8	10.6	40.0	37.3	29.9	22.7	1.1	0.3
原料品	17.3	11.6	48.9	75.3	105.4	85.0	1.9	1.3
鉱物性燃料	▲40.9	▲40.6	▲17.9	▲4.7	12.5	7.7	0.7	0.1
化学製品	23.7	5.2	18.5	28.5	32.6	39.6	12.3	5.2
原料別製品	6.0	▲5.2	13.1	27.4	45.7	56.7	11.9	6.4
鉄鋼	▲8.3	▲6.7	1.5	20.6	43.5	73.0	4.6	2.9
非鉄金属	31.1	5.4	38.9	48.5	63.7	45.2	2.5	1.1
金属製品	13.4	▲2.3	19.0	30.4	46.2	60.1	1.5	0.9
一般機械	12.5	▲1.4	18.7	40.2	40.5	42.0	19.8	8.7
電気機器	13.3	▲0.9	12.7	25.6	32.9	39.9	17.6	7.4
半導体等電子部品	11.4	▲1.8	9.8	11.4	12.7	24.7	5.3	1.6
I C	5.3	▲3.8	4.7	6.4	6.5	14.2	3.3	0.6
映像機器	▲0.8	▲2.5	39.0	69.9	114.7			
映像記録・再生機器	▲5.9	▲3.1	63.3	66.3	96.6	74.8	0.3	0.2
音響・映像機器の部分品	22.2	▲21.6	0.5	82.2	26.9	80.0	0.3	0.2
電気回路等の機器	19.7	0.4	17.9	22.6	40.1	47.9	2.5	1.2
輸送用機器	▲8.7	▲12.8	11.9	69.4	118.9	68.1	20.8	12.5
自動車	▲5.8	▲12.9	11.2	88.9	135.5	102.8	14.4	10.9
自動車の部分品	▲0.5	▲1.7	14.9	68.6	139.2	114.8	4.3	3.4
その他	6.7	▲4.8	23.4	32.9	43.2	47.3	14.0	6.7
科学光学機器	11.1	▲2.1	17.0	20.1	36.4	26.0	2.7	0.8

米国向け輸出金額 内訳								
	2021/01	2021/02	2021/03	2021/04	2021/05	2021/06		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲4.8	▲14.0	4.8	45.1	87.9	85.5	100.0	85.5
食料品	26.7	▲11.0	26.4	60.2	128.2	115.4	1.0	1.0
原料品	8.8	25.7	4.3	19.9	143.8	110.2	0.8	0.8
鉱物性燃料	▲84.6	▲94.3	▲87.1	▲53.2	▲65.1	▲33.1	0.3	▲0.2
化学製品	12.7	▲3.4	▲3.7	15.8	▲1.6	22.9	6.9	2.4
原料別製品	▲3.6	▲11.6	1.8	14.8	57.0	85.4	6.5	5.5
鉄鋼	0.2	14.1	▲13.0	▲0.2	50.4	145.3	1.2	1.3
非鉄金属	▲19.2	▲26.4	5.4	9.4	62.7	5.9	0.7	0.1
金属製品	▲1.2	▲9.5	3.4	31.4	77.2	112.7	1.6	1.6
一般機械	▲7.9	▲14.0	9.3	24.4	65.8	80.3	25.0	20.7
電気機器	▲3.4	▲6.1	4.4	43.0	99.4	79.8	14.4	11.8
半導体等電子部品	3.0	▲6.8	9.3	21.8	62.6	76.0	1.5	1.2
I C	▲12.2	▲7.2	16.7	19.5	77.8	47.8	0.5	0.3
映像機器	▲5.9	▲10.7	▲4.7	64.8	164.5			
映像記録・再生機器	▲10.9	0.9	11.7	62.2	158.4	124.8	0.6	0.6
音響・映像機器の部分品	13.5	▲22.0	▲16.1	166.6	144.2	74.4	0.1	0.1
電気回路等の機器	6.9	▲8.4	18.3	36.0	104.5	65.4	1.4	1.0
輸送用機器	▲6.7	▲20.7	1.7	106.5	225.0	129.5	33.0	34.5
自動車	▲0.6	▲19.7	8.3	117.6	244.6	144.3	25.1	27.4
自動車の部分品	▲8.5	▲10.2	1.6	78.3	295.5	179.9	6.1	7.2
その他	▲9.2	▲8.5	16.4	32.3	68.5	66.6	12.2	9.1
科学光学機器	▲0.7	▲3.0	17.5	50.6	58.4	38.1	2.6	1.3

EU向け輸出金額 内訳								
	2021/01	2021/02	2021/03	2021/04	2021/05	2021/06		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲22.4	▲3.3	12.8	39.5	69.6	51.1	100.0	51.1
食料品	▲4.7	20.2	25.8	79.9	115.3	92.5	0.6	0.4
原料品	▲12.8	▲7.3	23.5	7.2	100.9	52.6	0.9	0.5
鉱物性燃料	▲8.9	▲43.1	▲68.4	▲82.9	300.0	119.1	0.1	0.1
化学製品	▲5.5	8.1	14.1	23.8	37.8	46.3	13.4	6.4
原料別製品	▲6.5	▲1.5	27.4	37.9	81.4	84.2	7.9	5.5
鉄鋼	▲7.8	▲2.5	112.6	40.6	158.8	173.7	1.9	1.9
非鉄金属	▲25.8	19.6	35.4	39.4	55.2	80.5	0.9	0.6
金属製品	13.9	5.3	22.3	45.5	76.4	74.0	1.7	1.1
一般機械	▲18.5	▲4.1	18.2	34.4	70.4	65.7	24.5	14.7
電気機器	▲8.1	7.5	14.4	45.1	52.8	52.3	18.0	9.3
半導体等電子部品	3.9	3.5	17.6	37.8	45.7	41.0	2.3	1.0
I C	10.7	▲5.7	25.6	43.9	48.7	20.5	0.9	0.2
映像機器	1.9	▲4.6	73.0	138.0	154.3			
映像記録・再生機器	19.2	▲8.6	104.5	154.0	137.7	81.2	0.6	0.4
音響・映像機器の部分品	10.1	▲8.6	22.6	18.0	70.4	69.2	0.2	0.1
電気回路等の機器	▲9.4	▲1.6	23.5	29.2	71.6	71.4	1.8	1.2
輸送用機器	▲28.7	▲13.8	4.0	73.8	112.4	40.1	20.7	8.9
自動車	▲32.6	▲24.0	6.1	70.3	46.7	14.8	12.0	2.3
自動車の部分品	▲1.3	4.0	14.6	117.9	287.3	206.7	5.6	5.7
その他	▲44.7	▲5.7	13.6	27.6	69.8	33.5	14.0	5.3
科学光学機器	▲0.9	0.7	22.5	51.3	70.5	31.5	3.9	1.4

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。映像機器は、速報時点では公表されない。

(出所) 財務省統計より大和総研作成

アジア向け輸出金額 内訳								
	2021/01	2021/02	2021/03	2021/04	2021/05	2021/06		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	19.4	▲0.8	22.4	32.7	32.5	37.1	100.0	37.1
食料品	53.5	14.3	46.5	30.4	12.9	6.9	1.3	0.1
原料品	21.1	15.1	65.2	91.7	101.8	86.4	2.7	1.7
鉱物性燃料	▲24.0	▲24.8	9.1	36.1	52.6	10.6	0.9	0.1
化学製品	31.8	5.5	23.0	32.8	38.0	44.1	15.6	6.5
原料別製品	13.8	▲3.6	18.5	30.2	42.3	49.8	14.5	6.6
鉄鋼	▲0.3	▲5.4	6.3	25.4	44.2	67.0	5.9	3.2
非鉄金属	37.8	6.3	42.7	47.7	58.7	45.1	3.7	1.6
金属製品	19.4	0.3	26.0	28.6	34.3	42.2	1.6	0.6
一般機械	26.0	3.1	22.9	47.2	25.3	25.6	18.8	5.3
電気機器	20.7	▲0.5	14.7	16.9	18.5	30.3	21.4	6.8
半導体等電子部品	12.1	▲2.0	9.3	9.7	9.1	21.5	8.2	2.0
IC	5.7	▲3.9	3.6	5.0	3.8	12.8	5.5	0.9
映像機器	▲3.0	▲3.4	82.2	40.4	63.2			
映像記録・再生機器	▲10.7	▲3.8	96.0	39.9	52.9	47.0	0.2	0.1
音響・映像機器の部分品	26.5	▲24.1	0.6	74.4	10.1	72.5	0.3	0.2
電気回路等の機器	24.9	2.2	17.7	17.5	28.8	41.7	3.4	1.4
輸送用機器	▲5.8	▲12.1	21.5	46.5	59.4	40.3	8.9	3.5
自動車	▲3.2	▲7.3	16.7	77.9	68.9	52.6	5.3	2.5
自動車の部分品	3.2	▲0.0	25.9	34.2	57.2	64.0	3.0	1.6
その他	23.8	▲3.0	30.7	27.9	30.3	41.6	15.9	6.4
科学光学機器	15.4	▲3.2	16.2	8.4	24.8	20.2	3.1	0.7

中国向け輸出金額 内訳								
	2021/01	2021/02	2021/03	2021/04	2021/05	2021/06		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	37.5	3.4	37.2	33.8	23.6	27.7	100.0	27.7
食料品	76.9	28.2	55.4	45.0	20.1	35.1	1.0	0.3
原料品	58.3	39.9	145.8	137.6	125.0	141.5	2.5	1.9
鉱物性燃料	91.2	▲31.9	37.9	7.4	▲13.4	▲33.4	0.5	▲0.3
化学製品	40.6	▲1.4	37.8	28.1	23.4	28.0	16.1	4.5
原料別製品	40.9	3.2	40.5	37.5	23.6	20.2	11.9	2.6
鉄鋼	11.7	▲7.9	24.4	50.4	29.3	20.6	3.5	0.8
非鉄金属	104.0	41.2	73.1	46.4	28.3	15.4	3.6	0.6
金属製品	42.9	8.2	47.8	34.1	14.4	27.2	1.6	0.4
一般機械	44.3	10.7	38.1	56.5	25.2	25.7	22.9	6.0
電気機器	32.0	▲1.4	22.1	13.3	11.2	24.4	20.2	5.1
半導体等電子部品	4.1	▲13.6	▲5.1	▲10.2	▲8.5	2.8	5.5	0.2
IC	▲10.0	▲18.6	▲15.7	▲23.6	▲20.7	▲12.7	3.3	▲0.6
映像機器	▲6.3	▲2.6	106.5	20.8	26.7			
映像記録・再生機器	▲14.6	▲1.4	132.9	15.1	23.8	6.5	0.3	0.0
音響・映像機器の部分品	64.9	▲39.7	▲2.0	48.4	▲5.7	57.0	0.5	0.2
電気回路等の機器	38.0	0.6	39.3	18.2	22.2	28.8	3.5	1.0
輸送用機器	12.6	0.9	39.2	52.4	30.8	15.2	10.6	1.8
自動車	13.5	3.5	35.7	80.1	42.9	17.6	6.6	1.3
自動車の部分品	10.4	▲0.4	48.1	20.7	15.3	8.6	3.7	0.4
その他	43.0	4.0	41.6	15.2	29.1	48.8	14.3	6.0
科学光学機器	0.7	▲14.4	4.8	▲5.2	15.4	20.5	3.9	0.9

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。映像機器は、速報時点では公表されない。

(出所) 財務省統計より大和総研作成